

# 野蒜復興新聞

## 復興部会 優先事項決定

7月9日に開催された26年度第2回復興部会において、協議事項の優先順位決定が必要不可欠であるとの声が上がっていましたが、8月6日に開催された26年度第3回復興部会に

おいて優先事項が決定されました。さらに、9月3日に開催された26年度第4回復興部会において、検討優先課題の詳細な検討案が提出され、協議が行われました。

### JR仙石線全線復旧に向けて 安全運転で前進



大高森展望台から見渡せる奥松島の風景

8月6日に開催された第3回復興部会において、かねてより議題として挙げられていた協議事項の優先順位の決定が成されました。一つは仙石線に関する課題、そしてもう一つは野蒜海岸に関する課題です。

9月3日に開催された第4回復興部会において、主に仙石線に関する課題が議論されました。来年6月の全線復旧が待ち遠しいJR仙石線ですが、未だに駅前広場に向かう接続道路の工事が始まっていないという声や、実際にはどのような接続するのかがという疑問の声も部会内で出ていました。

また、新野蒜駅、新東名駅付近の高台造成に伴う土壌流出問題については、中

下等の北側だけではなく、元地側にも必要であるといった声や、駅を利用するお年寄りや障がい者の方にとっても使いやすいうように、エレベーター等の設備の実現を要望するといった声もありました。

復興部会では、そのような住民の声を整備計画に反映させるため、意見をとりまとめ、今後も野蒜まちづくり協議会役員会を通して、行政に発信していくと共に、情報を共有していきま

会では、野蒜海岸に関する課題に

次回は降の復興部

議論していく予定と

- ① JR仙石線に関する課題
- ② 野蒜海岸に関する課題

みんなで考えていこう！  
マックンより



# 災害公営住宅部会 二次意向調査項目まとまる 10月集計へ



9月12日に開催された野蒜北部丘陵振興協議会の災害公営住宅部会では、高台の災害公営住宅に住まれる方を対象にした「災害公営住宅仮申込み変更及び基本設計に係る意向調査」を実施するにあたり、仮申込み受付の変更を確認する項目や、申込書の文言等の検討を行いました。従来の基本項目に加えて、説明会や仮設住宅の懇談会等で質問があった3点の項目について（居住したいエリア、戸建て住宅の階数に関する意向割合、駐車場に関する意向）新たに追加し、実施します。市は10月3日の提出期限後、10月末まで集計、解析に努め、11月中には公表する予定としています。

## 高台移転部会 からメッセージ

### 『高台移転に想う』

去る7月末に、高台移転の造成地見学があり、工事の進行状況を見せたいいただき、団地の全体像が理解できました。関係各位の尽力により、順調に工事が進み、来年6月には、仙石線も開通予定とのこと。これまで、一日千秋の思いで、切望してきた仙台圏との交通が再開されることに希望を見る思いです。

また、すでに抽選等で決定している場所も、おおよそこの辺かと想像され、気の早い人は、自分の隣地に来る人は、どんな方かと気にかけている方もあるやに聞きます。地域コミュニティの新しい形成がこれからの課題になると三軒両隣り。袖振り合うも他生の縁。遠くの親戚より近くの他人等という言葉もあります。これから一生、隣り同士として、お付き合いしていただくことになり防犯、火災予防などにも協力できます。隣人としての相互理解が望まれるところで、新しい町づくり、人間関係を作るにあたって、互いに寄りあい、集まる場所として、集会所が必要になってきます。この集会所には、畳の部屋をはじめ、多目的に使用できるホールも欲しいものです。そこで老若男女がそれぞれ日常的に集い、語り合ったり、歌い、作品作りをしながら交流し、震災の教訓を伝えるようにしたいものです。その上で、未来に向かって、野蒜住民全体の地域文化を再生、想像してほしいものと考えます。

鹿野 善照

## 完成災害公営住宅 見学会のお知らせ

今後、完成する災害公営住宅に入居を希望する方々が、直接、部屋の大さや間取り、寸法・色合い、住環境などを実際に見ていただき、住み心地を体験していただく建設現場見学会を開催します。整備を進めている「東矢本駅北地区」の見学会を開催しますので、ご希望の方は、現地にお越しください。（事前申込み不要）

開催日時：平成26年11月9日（日）

12時～15時

場所：東矢本駅北地区

災害公営住宅建設現場

### お問い合わせ先

東松島市建設部建設課復興住宅班  
担当：藤田、木村  
東松島市移転対策部生活再建支援課  
担当：齋藤、千葉  
電話：82-1111

これまでの「第一号」二十三号野蒜復興新聞は野蒜まちづくり協議会ホームページでダウンロードできます。また、野蒜市民センターへも設置しておりますのでぜひご覧ください。

### 野蒜復興新聞

協議は毎週1回程度



高台移転部会 協議開始

野蒜復興新聞の発行は、野蒜復興協議会事務局（野蒜市民センター）にて行われます。発行日は毎月10日（日）です。発行部数は、毎月100部です。発行場所は、野蒜市民センター（野蒜町野蒜1-1-1）です。発行時間は、毎月10日（日）の午前10時から午後5時です。発行料金は、毎月100部あたり100円です。発行料金は、野蒜復興協議会事務局（野蒜市民センター）にてお支払いください。

『野蒜まちづくり協議会』で検索、ダウンロード可能